ant capital partners
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社

Sustainability Report 2025

最も人を思い、最も信頼に応える投資会社を目指して

Message 02 → **代表メッセージ**
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役社長 飯沼良介

Organization 03 → **サステナビリティ推進体制**

ESG Highlights 04 → **数字で見る投資先のESG**

投資先経営者対談

Dialogue 05 → **女性が輝く美容業界の未来を考える**
株式会社N-LaBo 川辺なお社長×株式会社JULIA IVY 福井仁美社長

投資先企業紹介

Case Study_01 07 → **株式会社JULIA IVY**
女性が多い職場だからこそ、女性の体にやさしい環境を

Case Study_02 08 → **株式会社N-LaBo**
美と健康の「駆け込み寺」を目指して、社員と共に鍼の良さを広めていきたい

Case Study_03 09 → **トリニティ株式会社**
会社の成長を支えるのは人。健康経営で社員のウェルビーイングを高める

Case Study_04 11 → **株式会社TS東京**
TS東京の挑戦：不燃性塗料で、ビルを安全かつサステナブルに

会社紹介

About_1/2 13 → **アント・キャピタル・パートナーズについて**

About_2/2 14 → **投資先企業一覧**

環境・社会課題にしっかりと向き合い、投資先への深い関与でESG推進を加速していきます

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社
〒100-6390 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸の内ビルディング27階
代表取締役社長 飯沼良介

アント・キャピタル・パートナーズは、「世界で最も人を思い、最も信頼に応える投資会社になる」ことをビジョンに掲げています。これは、2020年に当社が20周年を迎えるにあたり、社員、投資先、そして投資家の方々と共に、私たちがこれまで大事にしてきた価値観や投資活動のコアを振り返り、ビジョンとしたものです。今後も私たちはサステナビリティに関する取り組みを積極的に推進し、ステークホルダーの皆様の信頼にしっかりと応えてまいります。

環境（Environment）

気候変動が引き起こす様々な環境への影響が深刻化しており、サステナブルな経済・社会のために、そして企業の事業活動の持続性の観点からも、気候変動問題への対応が重要になっています。まず自社から取り組みを進めるため、3年前に再生可能エネルギー100％の環境に配慮したオフィスに移転しました。投資活動では、ビルの改装工事から発生するGHG[*1]を80％削減するソリューションを提供している企業に投資するなど、ESG[*2]投資の実践を進めています。今後は、投資先企業のGHG排出量の算定を可能な限り進めるとともに、気候変動対策の推進を積極的に応援していきます。

社会（Social）

私たちは、働きやすい環境が雇用を守り、その会社の発展につながると考え、投資先企業の労働環境の抜本的な改善に取り組んでいます。たとえば、投資先へのハンズオン支援の一環として、企業の働き方改革に取り組み、忙しくて社員が昼食を取れないという課題を解決するため、昼休みに全店舗をクローズするという大胆な施策を取り入れました。結果、離職率の大幅な改善につながり、優秀な人材の流出を防ぐことができました。また、ジェンダーの課題にも積極的に取り組んでいます。“Women Empowerment Project”と称し、ネイルスクールや眉毛の施術を行う企業に投資し、女性のキャリア形成やスキル取得を応援しています。このような取り組みを通じて、多様性のある社会の実現に寄与したいと考えています。

ガバナンス（Governance）

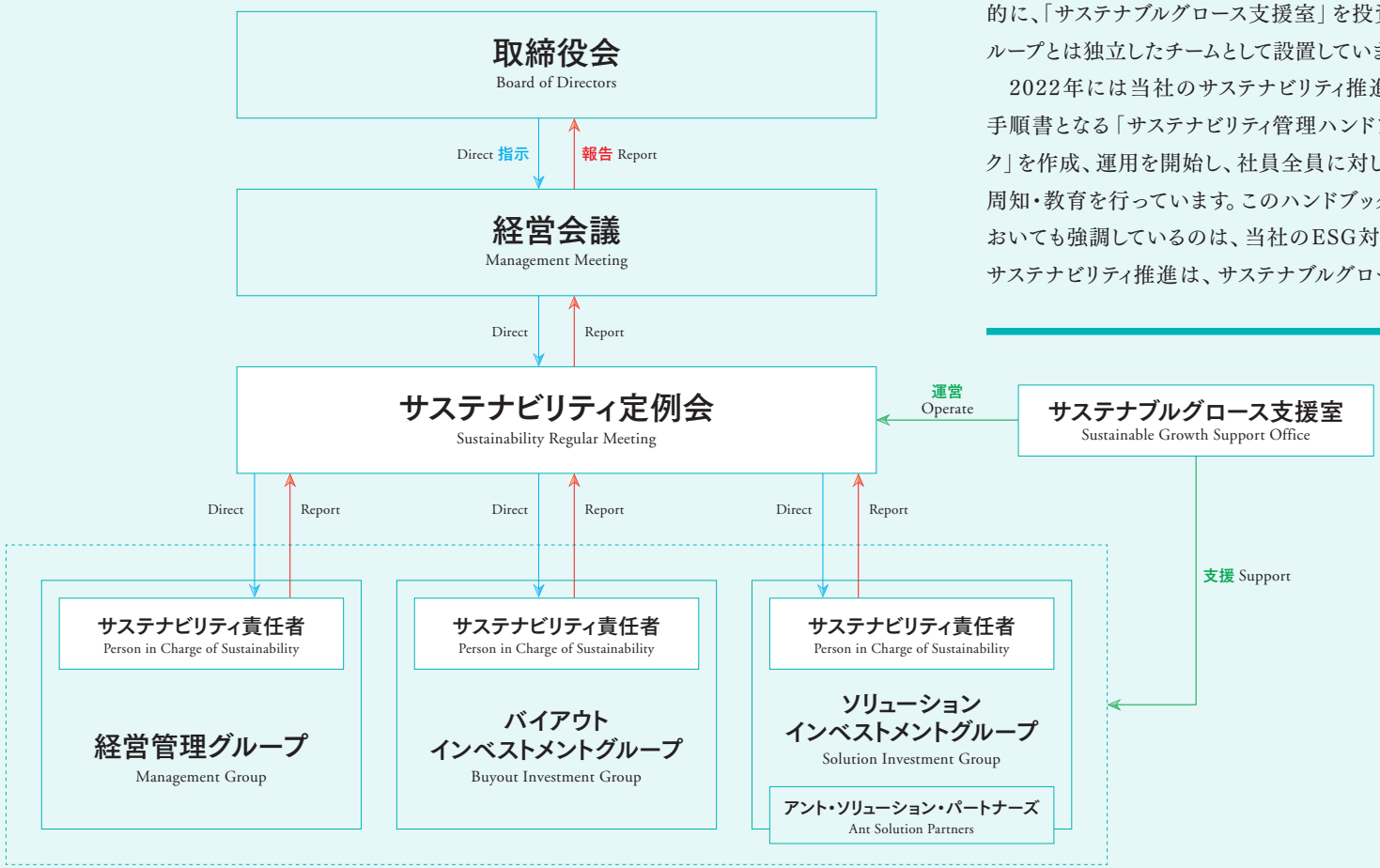
ガバナンスの観点は、投資ファンドとして重要なポイントだと考えています。私たちは、原則として企業の株式の3分の2以上を取得し、企業経営に対するコントロールを有するため、ガバナンスをしっかり整える責任があります。そのため、適切な内部統制を整え、企業のガバナンスを強化し、従業員や各ステークホルダーに信頼される企業を作り上げることに注力しています。

今後は、投資先企業および自社のESG・サステナビリティに関する取り組みをさらに推進し、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

*1. GHG=温室効果ガス
*2. ESG=環境/Environment、社会/Social、企業統治/Governance

Video

サステナビリティ推進体制



2016年の国連責任投資原則（PRI）署名を機に、アント・キャピタル・パートナーズでは責任投資ポリシーを作成し、それに基づいた投資活動におけるESGリスク管理を強化し、体系的に進めてきました。また、2021年には、自社及び投資先企業におけるサステナビリティ推進を目的に、「サステナブルグロース支援室」を投資グループとは独立したチームとして設置しています。

2022年には当社のサステナビリティ推進の手順書となる「サステナビリティ管理ハンドブック」を作成、運用を開始し、社員全員に対して、周知・教育を行っています。このハンドブックにおいても強調しているのは、当社のESG対応、サステナビリティ推進は、サステナブルグロース支援室といった専門部署のみが実施するものではなく、投資フロントメンバーを含む社員全員が取り組むべきものであるということです。

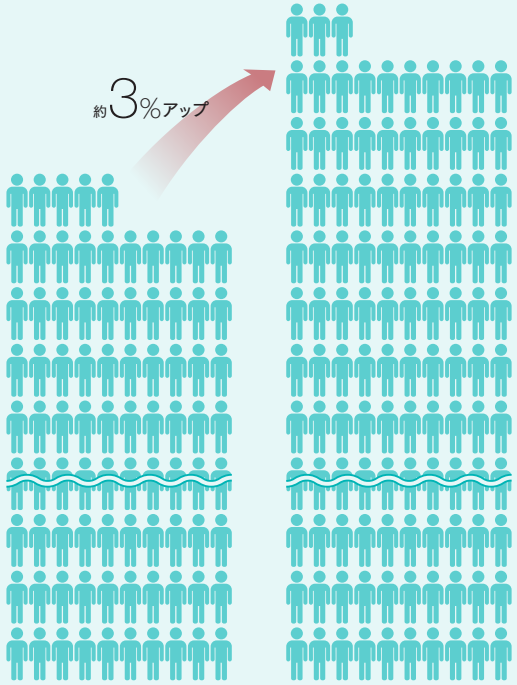
上記のような考え方も踏まえ、社内の各グループより、サステナビリティ責任者を選任しています。同責任者は、各グループのサステナビリティ活動をリードする役割を担っている他、月次のサステナビリティ定例会に出席、社内及び投資先企業におけるサステナビリティ推進の方針や施策について協議をしています。

なお、2024年9月に設立した100％子会社のアント・ソリューション・パートナーズ株式会社も、当社と一体でサスティナビリティを推進しています。

数字で見る投資先のESG

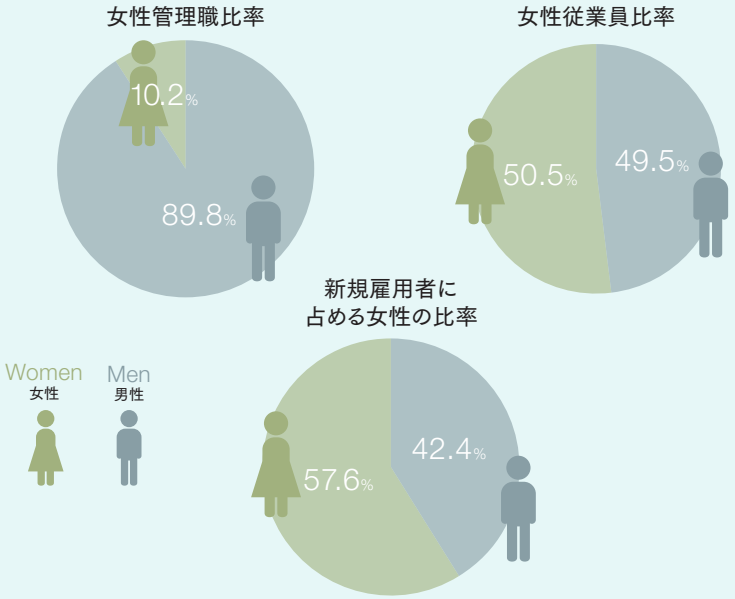
当社のビジョン「投資先企業の大切な思いと真摯に向き合い、最良の未来を築く」に沿って、投資先企業の職場環境に関する指標を中心に、ESGに関する取り組み状況を、定期的にモニタリングし改善に努めています。今後も、ESGに関するリスク・機会の評価やエンゲージメントの高度化のため、指標の見直しを継続的に行っていきます。

従業員数の推移 *1,2



離職率

ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン※5



＊1. 投資中の企業のうち、2022年、2023年の実績値の報告があった企業の数値
＊2. 正社員数で算出
＊3. 厚生労働省令和5年「雇用動向調査」の企業規模別離職率のうち、企業規模30～99人および100～299人の離職率を用いて、当社が単純平均で算出。加重平均ではないため参考値。
＊4. 離職率＝離職者数（正規・非正規含む）/期初の従業員数（正規・非正規含む）×100
＊5. 投資中の企業のうち、2023年の実績値の報告があった企業の平均値

投資先経営者対談

株式会社N-LaBo 川辺なお社長

株式会社JULIA IVY 福井仁美社長

女性が輝く美容業界の未来を考える

アント・キャピタル・パートナーズは、日本の働く女性をサポートしたいという考えから、出産・育児などによりライフステージが変わっても女性が活躍できる企業への投資を行っています。今回は、十年来のご友人でもある、美容鍼市場のパイオニアである株式会社N-LaBoの川辺なお代表取締役社長と、アイブロウ市場のパイオニアである株式会社JULIA IVYの福井仁美代表取締役社長に、「女性の活躍や働きやすさ」というテーマで対談を行っていただきました。

女性が活躍できる環境づくりのために、試行錯誤を繰り返しています。

川辺　私たちN-LaBoでは、女性が働きやすく、そして活躍できる環境を整えるために、多くの試行錯誤を積み重ねてきました。まず、当社では、性別に関係なく能力次第で評価されて昇格でき、給与にもしっかり反映されます。そして、経営陣やマネージャー職などの上層部の9割が女性で、女性がキャリアを築きながら長く働いているので、自分もそうなりたいというイメージを持ちやすいと思います。また、出産祝い、育児休業、時短勤務制度のほか、週5日勤務にこだわらず、自分のライフスタイルに合わせて勤務日を選べる柔軟な働き方も導入しました。創業からの10年間で、今が一番女性にとって働きやすい職場になっていると自負しています。

福井　大企業はいろいろな取り組みを進めていますが、そこと比べると、女性が働きやすい環境を整えるのは簡単なことではないなと実感しています。川辺さんは、創業当初からそのような会社づくりを意識されていたのですか？

川辺　私の母はシングルマザーだったのですが、美容の仕事でしっかりとキャリアを築き、子供3人を育ててくれました。その経験から、幼い頃から、女性がちゃんと自立して、何があっても生きていけるような働き方をしていきたいと思っていました。社員の皆さんにも、何があっても困らないように、しっかりと活躍できるようになってほしいと思い、そのために会社を作っているようなものです。

福井　川辺さんご自身が出産を経験されたことが、ワーキングマザーの働く環境づくりに役立ったところはありますか？

川辺　やはり、出産や育児の経験は大きいと思います。そして何より、ワーキングマザーの状況を理解できるようになったことが良かったと思っています。

女性には、もっと自由に、本当に自分たちのためになる働き方をしてほしいです。

福井　ライフ・ワーク・バランスより、女性の自立をもっとデフォルトにするべきというのが私の持論です。もちろん休みも必要ですし、ライフステージによって柔軟な働き方は必要です。でも、働く時間を減らすと、収入も減ってしまうことが多いですよね。だからこそ、スキルを高めて経済的に自立することで、もっと自由に仕事や働き方を選べるようになるべきだと思うのです。その方が、結果的にバランスもとりやすくなると思います。

川辺　そうそう。社員の皆さんを、その状態にしたいという気持ちでやっていますよね。経済的自立をしなければ、将来本当に安心して生活を送れる保障は無いと思っています。もっと自由に、本当に自分たちのためになる働き方をしてほしいです。

福井　そうなんです。どうやったら皆が自立して稼げて、輝いて自信を持てるかをいつも考えています。ベンチャー企業だからこそ、その重要性を伝えていきたいと思っていますし、女性社員には特に言っています。そして、まずは自分がそうあるべきだと思っています。

美容の職業の価値を上げることが、私たちの役割だと思っています。

川辺　JULIA IVYさんのブロウアーティストの研修は、とてもしっかりされていますよね。しっかりした研修を受けることによって、プロフェッショナルな肩書をもらえ、今までとは違う自分になれるという点は、美容鍼でも共通していると思います。自分に誇りを持てると、仕事が楽しくなりますよね。

福井　私たち、昔からずっと職業の価値を上げたいって言っていますよね。10年前に川辺さんに美容鍼を施術してもらいながらお話を聞いていたときも同じことをおっしゃっていて、私もきっとどこかで川辺さんに感化されて、今のアイブロウ市場を作ってきたのかなと思います。

川辺　本当に、ずっとそれを目指しています。たとえば、社員の技術力を高めて、従来より効果が高く、施術時間は短いというコースを導入しました。お客様の満足度を高めつつ、社員の時間当たりのパフォーマンスを上げることで、お子さんを育てながら時短で働いたとしても、収入を維持できる仕組みづくりをしています。

女性がちゃんと自立して、
何があっても生きていけるようになってほしい。
そのために会社を作っているようなものです。
———川辺なお社長

新しい美容の文化を作り職業の価値を上げ、
そして多くの女性の雇用を生み出し
皆に活躍してもらいたい。
———福井仁美社長

福井　美容の仕事は、予約商売・現場仕事で、ライフステージによっては持続可能の真逆ですよね。そこでキャリアを諦めざるを得ない人が多いけれど、高い技術力があれば、短い勤務時間でも単価を上げて収入を維持したり、場合によってはもっと稼いだりすることもできます。私もブロウアーティストの研修で、自分の技術にもっと自信を持ち、それにふさわしい対価をいただきましょうということを伝えています。

福井　女性がもっと稼ぐようになったら、男性が脅威を感じたりして（笑）。共働きが普通になってきていますが、まだ、男性が多く稼いで女性は少しだけ稼いでくるみたいなところが残っているように思いませんか？

川辺　そうですよね。私は、逆もあってもいいなと思っていて、いっぱい働きたい女性もいるし、家庭のことが得意な男性もいます。男女どちらでも、やりたい方を選べたら素敵ですよね。

福井　男性と女性は体のつくりも違うので、全く一緒というわけにはいかないと思いますが、やはりお互いを理解することが大事ですよね。

女性が輝く美容業界の未来を、一緒に築いていきます。

福井　新しい美容の文化を作り、美容の職業の価値を上げ、そして、多くの女性の雇用を生み出し、皆に活躍してもらうこと。今回の対談で、改めて川辺さんと目指す方向性が完全に一致しているなと思いました。これからも一緒に業界を盛り上げていきましょう。

川辺　美容の仕事を憧れの職業にしていきたいです。これからも一緒に頑張っていきましょう。

Video

株式会社JULIA IVY

JULIA IVY Co., Ltd.

女性が多い職場だからこそ、女性の体にやさしい環境を

☑福利厚生に低用量ピルのオンライン処方を取り入れ、働く女性の体の負担を軽減する

〒153-0043 東京都目黒区東山1-5-4 KDX中目黒ビル4F
株式会社 JULIA IVY 代表取締役社長 福井仁美

2年連続で2部門の日本美容企業大賞を受賞し、美容業界で革新を続ける株式会社JULIA IVY（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：福井仁美）。「眉をプロがケアする文化を日本に根付かせる」というビジョンを掲げ、眉の生え癖を改善し、毛流れを整える「HOLLYWOOD BROW LIFT®（以下、HBL）」を軸に、眉・スキンケア事業を多角的に展開しています。眉ケア事業をはじめた経緯や、同社の躍進を支える女性社員を大切にする、世の中の一歩先を行く福利厚生などについて、福井社長にお話を伺いました。

日本美容企業大賞2025において、
「製品開発部門」および「企業成長部門」の2部門を受賞

日本美容企業大賞 2025 製品開発部門

製品開発部門：オリジナルコスメの開発・販売

日本美容企業大賞 2025 企業成長部門

企業成長部門：事業展開の拡張と新しい教育プログラムの確立

――眉のケア事業をはじめたきっかけを教えてください。

アメリカで出会ったブロウアーティストが、人の表情の80%を占める眉毛の施術者という自分の職業にとても誇りを持っていて、かっこいいなと思ったのがきっかけで、HBL事業をはじめることを決めました。美容は外見を美しくするものだけでなく、自信を与えて、人生において一歩踏み出す勇気を与えられるものだと思っていて、「すべての人生に、一歩踏み出す勇気と感動の瞬間を提供する。」これが私たちのビジョンです。

――社員が働きやすい職場にするために、どのような工夫をされていますか？

当社では、社員の約70%が女性なので、女性特有の体の問題にしっかりと向き合いたいと考え、少し攻めた福利厚生を取り入れています。具体的には、オンライン診察による低用量ピルの処方を会社が負担する取り組みを開始しました。

生理の話は、会社の中ではあまり行われませんが、自分自身も月経による心と体の変化を感じますし、生理痛が重くて辛いのに、それを言い訳にできずに働いている人もいると思います。生理痛で休むという選択肢以外に、ピルを使って、自分で主体的にコントロールするということができたらいいなと考え、この制度を導入しました。

――社員の皆さんの反応はいかがでしたか？

制度導入当初は、「そんなのがあるんですか」という反応があり、会社全体でちょっとしたざわつきがありました。しかし、徐々に制度を利用する社員が増え、体調不良で休む人が減るなど、自然に変化を感じています。社員の心身の健康を大切にして、社員と共に、人々に勇気を与えるこのアイブロウ事業を、さらに広めていきたいと考えています。

Video

株式会社N-LaBo

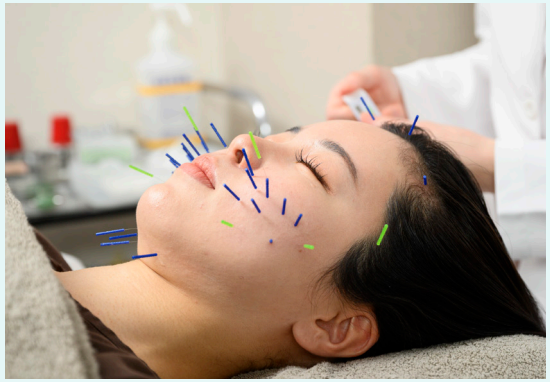
N-LaBo, Co., Ltd

美と健康の「駆け込み寺」を目指して、社員と共に鍼の良さを広めていきたい

☑女性が活躍し続けられる職場で、一緒にビジョンを実現していく

〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-3 東京真珠ビル4階
株式会社 N-LaBo 代表取締役社長 川辺なお

株式会社N-LaBo（本社：東京都中央区、代表取締役社長：川辺なお）は、東洋医学と現代医学の知識を融合させた独自のメソッドを通じて、美容鍼灸ブランド「銀座ハリッチ」や睡眠専門鍼灸「NEL」などのブランドを展開しています。特別企画の対談で、同社の「社員の働きやすさ」のための様々な取り組みについて伺いました。ここでは、川辺社長の鍼にかける思いをお話しいただきます。



――なぜ美容鍼の専門院を始められたのでしょうか？

私自身、過去に自律神経失調症や不眠症、そして特に蕁麻疹に悩まされ、入退院を繰り返していました。何年も辛い状態が続いていたある日、たまたまご縁があって受けた鍼灸が私の心身を救ってくれました。鍼灸は、古代中国より発展した東洋医学の一つで、全身のツボに鍼を打つことで、体が本来持っている自己治癒力を引き出すことができるため、様々な病気や怪我の治療に使われてきました。この鍼灸をベースに美容目的で生み出されたのが「美容鍼灸」です。私自身がとても苦しんだので、同じように苦しんでいる方々のために、美と健康の駆け込み寺のような存在を作りたいという思いでN-LaBoを立ち上げました。

――女性が働きやすい職場づくりを進め、多くの女性を雇用されています。美容鍼の専門院としての、ビジネスの成果につながっている部分はありますか？

まず、女性特有の疾患や肌の悩みに寄り添う企業なので、お客様のお悩みをしっかりと理解できることです。そして、怖くない鍼屋さん・親しみやすい存在になりたいという思いから、友人のあだ名のように店名に「チ」を付けて「ハリッチ」としていますが、実際の施術でも女性らしい温かみのあるおもてなしによって、鍼の持つ痛そうなイメージや怖さを和らげられているところはあると思います。

――川辺社長が目指す未来をお聞かせください。

目指すビジョンは創業から10年間ずっと変わっておらず、より多くの人々に鍼灸の良さを伝えていくため、N-LaBoの店舗を日本中、そして世界の主要都市にも展開し、もっと日常的に鍼灸を受けていただけるようにしていきたいと思っています。また、出産や育児などのライフベントがあっても、女性が活躍し続けられる職場づくりを続けていくことで、当社で働いてくれている多くの女性と一緒にこのビジョンを実現していきたいです。男性だけでなく、女性も輝ける未来があることを示すことで、より多くの女性がキャリアを諦めずに働いていきたいと思ってくれるのではないかと考えています。

Video

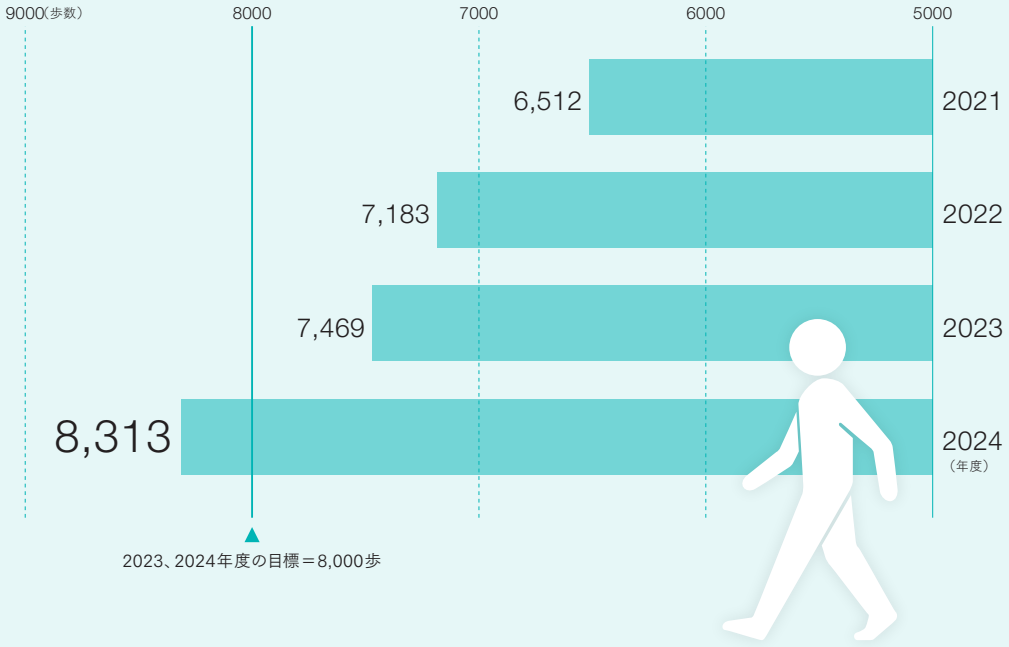
トリニティ株式会社
Trinity, Inc.

会社の成長を支えるのは人。健康経営で社員のウェルビーイングを高める

☑2年連続で健康経営優良法人「ブライト500」に認定
☑チーム対抗ウォーキングイベントで、毎年平均歩数を伸ばす

〒352-0001埼玉県新座市東北2-14-17
トリニティ株式会社 代表取締役社長 山本洋平

トリニティウォーク 歩数の推移（同社の運動機会増進を目的とした1日の平均歩数向上イベント）



「デジタルライフを豊かにすること」を目指し、デザインに優れたモバイル機器やコンピューターアクセサリー、ユニークな商品を企画・製造・販売しているトリニティ株式会社（本社：埼玉県新座市、代表取締役社長：山本洋平）。「会社を支えるのは人であり、社員が心身ともに健康な状態を作ることが、長期的な会社の成長に繋がる」という思いのもと健康経営を実践し、優れた取り組みを行う上位500社「健康経営優良法人 中小規模法人部門（ブライト500）」に2年連続で認定*されました。

＊健康経営優良法人2023、2024

――トリニティウォークによって、社員の平均歩数が年々伸びていると聞きました。

2021年度より、健康経営の取り組みの一環としてトリニティウォークという社内のチーム対抗ウォーキングイベントを開始し、今年で4年目になります。社員全員を数人ずつのチームに分け、歩数を競い合い、優勝チームには賞品を贈ります。チーム内で、「もう少しで順位が上がりそうだから、歩いて行こうよ」といった会話もあり、社員同士で盛り上がりを見せています。

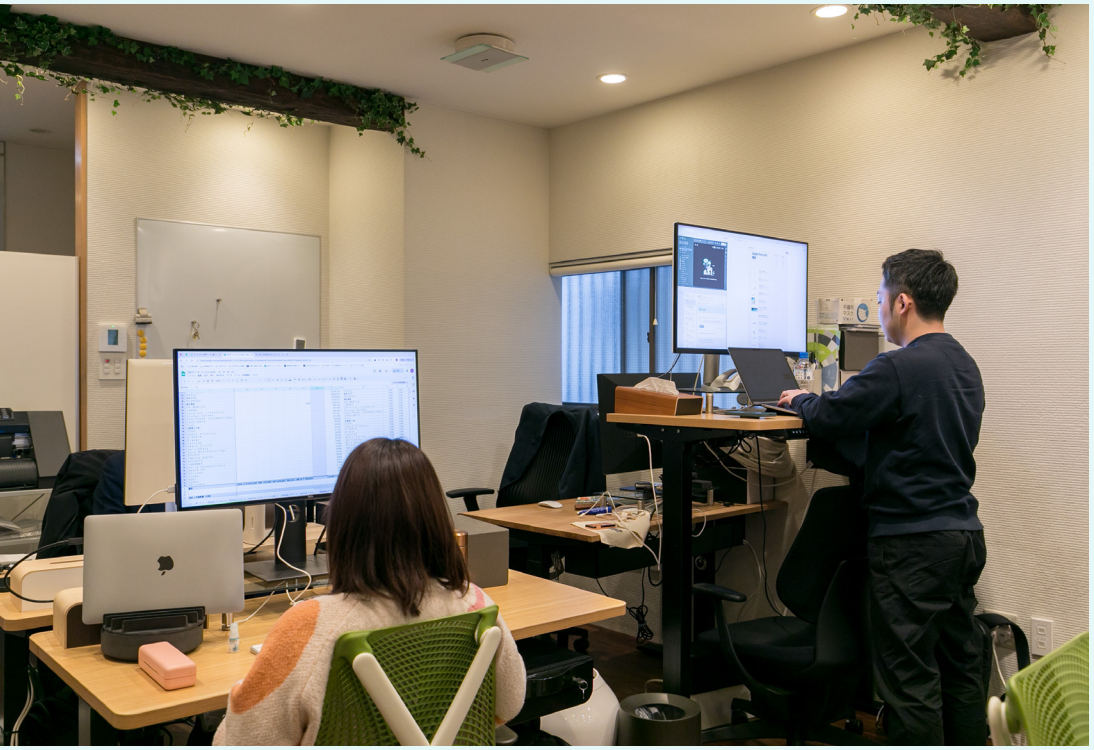
一日の一人当たりの歩数8,000歩以上を目標としていますが、2023年度の会社全体の平均歩数は7,469歩と目標まであと少しというところまで来ました。2024年度に入ってからは平均歩数が顕著に増加していて、2月までの平均歩数は8,300歩を超えており、取り組みを続けることで社員の健康意識も高まってきているように感じています。

――なぜ健康経営優良法人の認定を取得しようと考えたのでしょうか？

創業からの15年を振り返った時に、会社を支える社員が一番大切であると気づいたのがきっかけです。働く人が健康でないと、会社の安定や成長は難しいですよね。

それまでも有給休暇の取得を奨励したり、残業時間を削減するように働きかけたりと、社員が働きやすく、成長できる場を提供するべく取り組んできましたが、更に一歩進めたいと考え、「健康経営優良法人認定制度」に挑戦することを決めました。そして、その中でも中小企業向けの枠でトップ500位以内に与えられるブライト500を目指そうと考えました。

同制度では、健康経営を進めるための経営理念、組織体制が整えられているか、従業員の心身の健康増進のための制度があり施策が実行されているか、取り組みの評価・改善が行われているか、法令順守・リスクマネジメントがしっかりしているかなど、幅広い認定要件があり、要件に対応するのは大変なこともありましたが、社員に取り組みの意義を説きながら進めてきました。具体的な取り組みとして、トリニティウォークのほか熱中症対策のためのリモートワークの導入などを行っています。



身体への負担軽減、集中力の向上を期待して、立って仕事ができる「スタンディングデスク」を導入している

――健康経営は、会社全体にどのような効果をもたらしていますか？

「プレゼンティーズム（健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスが出せない状態）」や「アブセンティーズム（傷病による欠勤）」といった、健康上の問題を理由とする社員のパフォーマンスの低下を防ぐ効果が出ています。

本社が入居するビルのレストランで社員が昼食をとる場合、会社が費用の一部を負担している

社員が日常的にウォーキングなどで身体を動かすことで、心肺機能や脳が活性化した状態で会社に来てもらうことができ、業務効率化や成果の向上につながっており、健康経営の効果を実感しています。

Video

健康経営優良法人認定制度[*1]

経済産業省の説明によると、健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です。「健康経営優良法人2024」として、中小規模法人部門に16,733法人が認定[*2]されており、その中で優れた取り組みを実施している上位500社に「ブライト500」の冠が付与されました。

＊1. 健康経営優良法人認定制度（https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html）
＊2. 2024年3月11日時点

株式会社TS東京
TS Tokyo Co., Ltd.

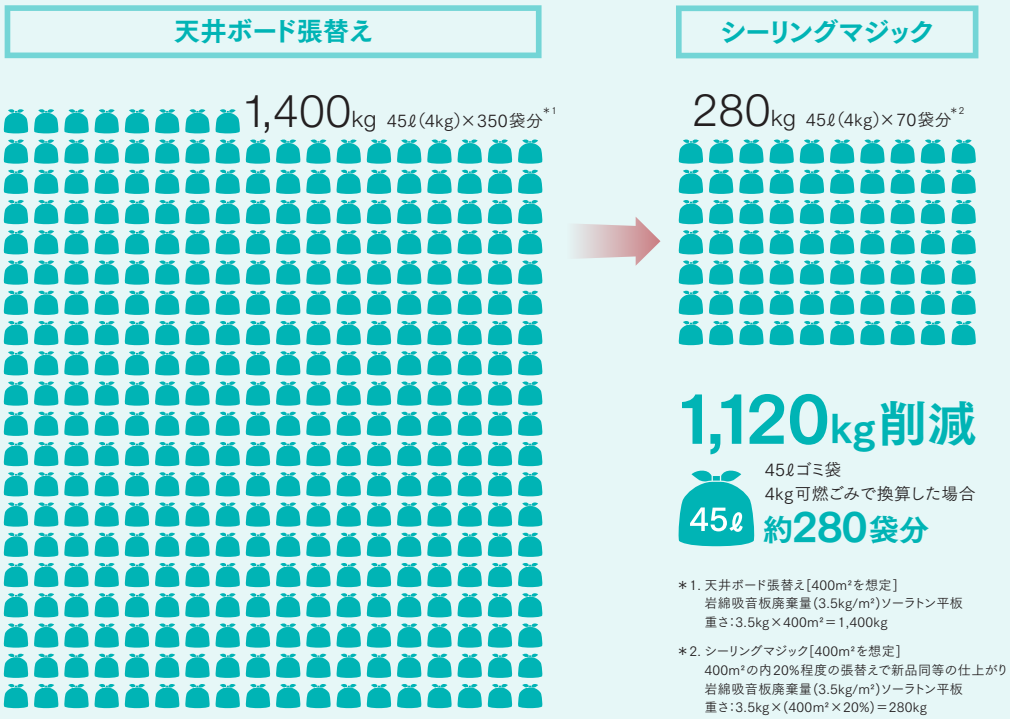
TS東京の挑戦：不燃性塗料で、ビルを安全かつサステナブルに

☑ビルの改装工事で発生する廃棄物とCO_2を約80％削減
☑国土交通大臣認定の不燃性塗料で、ビルで過ごす人の安全を守る

〒163-0430 東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル30階
株式会社 TS東京　代表取締役 若生伊知郎

株式会社TS東京（本社：東京都新宿区、代表取締役：若生伊知郎）は、不燃性天井塗料「シーリングマジック」の販売・施工を主力事業としており、ビルの改装工事で発生する廃棄物やCO_2を大幅に削減し、ビルで過ごす人の安全を守ることに貢献しています。「ビルマネジメントにおけるESG課題を、私たちが解決する。」という高い目標を掲げるTS東京の久保田部長にお話を伺いました。

シーリングマジック採用で削減できる1現場あたりの廃棄物量



＊1. 天井ボード張替え[400m²を想定]
岩綿吸音板廃棄量(3.5kg/m²)ソーラトン平板
重さ：3.5kg×400m²＝1,400kg

＊2. シーリングマジック[400m²を想定]
400m²の内20%程度の張替えで新品同等の仕上がり
岩綿吸音板廃棄量(3.5kg/m²)ソーラトン平板
重さ：3.5kg×(400m²×20%)＝280kg

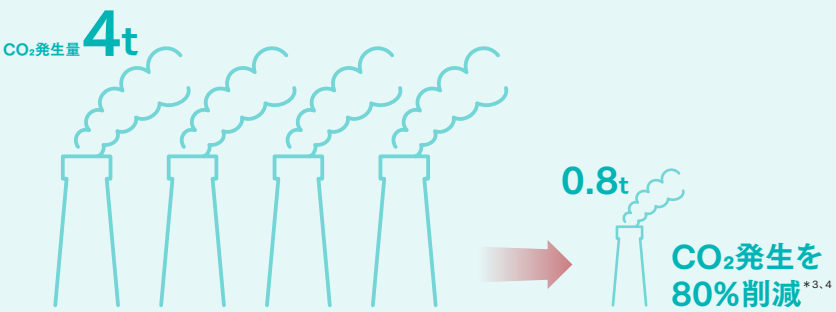
――ビルの改修工事において、環境負荷の低減を重視する企業が増えていると聞きました。

建設業による廃棄物は、日本全体の産業廃棄物排出量の約20％を占めており、持続可能な社会の実現に向けて廃棄物削減は急務です。また、ビルのオーナーにとっても、環境対策への積極性が投資家やテナントなどから評価されるため、改修工事において環境負荷の低減が重視されています。

たとえば、ビルの天井の改修工事では、一般的な工法として、天井ボードの張替えや既存の天井ボードへの塗装が採用されます。しかし、張替えでは廃棄物が増え、塗装では吸音効果の低下や見た目に課題があります。

――なぜ大幅な廃棄物削減とCO_2削減を実現可能なのでしょうか？

当社の不燃性天井塗料「シーリングマジック」を使用することで、ビルの改修工事において天井ボードの張替えを行わず、吸音効果や見た目を保ったまま塗料の吹き付けで代替することができます。これにより、天井ボードの廃



＊3. 400m²分の処理にかかるCO₂量、製造時のCO₂排出量、電力・蒸気等の燃料にて計算
CO₂排出量（1m²:0.002t）×400m²＝0.8t（400m²、1,400kg処理にかかるCO₂量）
＊4. 400m²の内20%程度の張替えでそのほかを再利用可能なため

棄物排出量を1現場あたり約1,120kg削減[*1、2]しています。さらに、張替えに比べて廃棄物処理などから発生するCO₂を約80%も削減[*3、4]できます 。

――シーリングマジックの防災効果について教えてください。

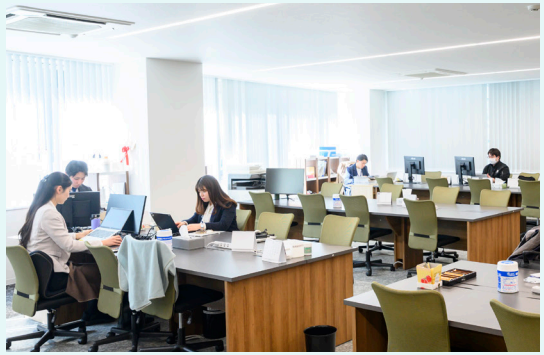
不燃性天井塗料は、火災発生時に火災の拡大や煙の発生を遅らせることで、ビル内にいる人の安全を守ります。当社のシーリングマジックは、国土交通大臣の不燃材認定を取得しており、建築基準法の内装制限に適合した天井塗料です。本製品をより多くのお客様にご使用いただくことで、ビルの安全性向上に貢献していきたいと思っています。

――ESGに積極的に取り組むことで、ビジネスにはどのような変化がありましたか？

2020年からESGに関する取り組みを進めていましたが、特に当社の主力商品であるシーリングマジックの環境への貢献度を定量的に示すことができたことが、社員の意識を変える大きな契機となりました。ESGに特化したウェブページを作成し、廃棄物削減量やCO₂削減量を具体的に示せるようになったことで、お客様と同じサステナビリティの方向を向いていることを伝えることができ、新たな顧客獲得につながっています。

SNSなどでSDGsやサステナビリティという言葉を日々目にしますが、そういった取り組みを自社で行っていることは社員の意識にもプラスに働いています。ESGに特化したウェブページを開設したのをはじめ、社員一同、どんどん広報していこう、さらに進めていこうという前向きな意識につながっています。

今後もESGへの取り組みを通じて、持続可能な未来に向けて貢献していきたいと考えています。



Video

アント・キャピタル・パートナーズについて

投資件数 180社以上 Over 180Companies

ファンドコミットメント
累計金額 2500億円以上 Over ¥250Billion

業歴 25年 25Years　PRI署名※ Since 2016

弊社は、2000年に設立した国内プライベート・エクイティ・ファンドの草分け的存在で、これまでにバイアウトインベストメントグループ、ソリューションインベストメントグループ合わせてその運用額は2,544億円にのぼります。

創業以来の徹底した投資先企業へのハンズオン支援や資本構成の再構築支援（非公開化を含む）に加え、ESG・SDGsへの対応、AI／DXの活用・推進、海外特にアジア展開等を積極的に支援することにより投資先会社の企業価値を高め、高いパフォーマンスを確保する投資戦略をとってきています。

Company name	アント・キャピタル・パートナーズ株式会社
Established	2000年10月
Representative Director and President	代表取締役社長 飯沼良介
Location	〒100-6390 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸の内ビルディング27階
Business description	未上場株式などへの投資業務および投資事業組合の運営管理業務
Shareholders	役職員、農林中央金庫、三井物産企業投資株式会社

※PRI署名とは、ESGに配慮した責任投資を行う意思を宣言すること

投資先企業一覧

2025年3月15日時点

Buyout Investment Group

株式会社APEXホールディングス
循環器・心臓外科領域に特化した
医療機器の販売卸及び修理等

株式会社アミークス
出張型修復サービス
フランチャイズの運営
ビル内外装リフォーム事業の運営

株式会社アントレ
独立・開業領域における
求人メディアの運営

株式会社ヴイ・エス・テクノロジー
マシンビジョン用の光学レンズ、
光学部品、照明装置の
開発、設計、製造

オークスモビリティ株式会社
事故現状車の
オークション事業

株式会社JULIA IVY
アイブロウソリューション技術
「HOLLYWOOD BROW LIFT®」の
提供及び専用商材のEC販売

株式会社スプラウトインベストメント
活魚・鮮魚の卸売事業
及び地魚・純米酒・活イカ・串焼等の
業態別外食事業

ソフトブレーン株式会社
CRM/SFAの開発・販売。
子会社にてフィールド
マーケティング事業ほか

株式会社デザインワード
ネイルスクール、
ヘア&メイクアップスクールの運営

株式会社ニューオークボ
生パスタ・スパゲティ・マカロニの
製造販売及び
生パスタ専門店の運営

株式会社フェニックスインターナショナル
ニットウェアを中心とした
アパレル製品の
企画・製造・輸出入・卸売

株式会社プリアンファ
ネイル関連溶剤・資材・
まつ毛関連商材の製造販売

株式会社メック
医師国家試験対策予備校、
大学医学部向け教育支援、
医師国家試験対応模擬試験作成、
出版、医師人材紹介業の運営

Solution Investment Group

株式会社アートワークスタジオ
オリジナル照明・インテリア雑貨の
輸入卸、インテリアショップ、
Webショップの運営

株式会社イーナ
自社EC「家具350」の
運営及び家具の企画・販売

株式会社イノダコーヒ
喫茶及びレストラン、
各国産コーヒー
自家焙煎及び販売等

株式会社キノシタ
商業施設、飲食店、
オフィス等向けの業務用家具の
製造・卸事業を展開

株式会社グラムスタイル
EC事業、
インテリア関連用品の
企画製造・卸売

立石フィルター株式会社
空調用フィルターの
販売・設置工事・
メンテナンス等

トリニティ株式会社
モバイル機器や
コンピューターアクセサリーの
企画・製造・販売

株式会社N-LaBo
鍼灸施術等の提供・
化粧品等の企画・販売。
美容鍼灸ブランド「銀座ハリッチ」や
睡眠専門鍼灸「NEL」を展開

株式会社ビジコンネクスト
非上場オーナー企業
向け資本・保険
コンサルティングを提供

山芳製菓株式会社
「わさビーフ」をはじめ
とするポテトチップスや
スナック菓子の製造販売

株式会社プレミアム及び株式会社マインドウェイブ*
シール・ステッカー・ラベル等の製造・販売、
カードスリーブやステッカー等のOEM販売、
ECサイトを通じてのオリジナル
キャラクターグッズの企画販売

＊アント・ソリューション 6号ファンドより投資

Vision

世界で最も人を思い、最も信頼に応える投資会社になる

Striving to be the most people-oriented and trustworthy investment company in the world

- 投資先企業の大切な思いと真摯に向き合い、最良の未来を築く
- 誰よりも投資の意義を問い、時代のニーズを捉えた新たな価値創造に挑む
- 個を尊重し、高め合い、熱意を持って限界を超える